

賢明女子学院リヴィエ会会報



あらむね

Vol. 56

2017.3.1 発行

Shining Stars

特集 クラブ活動

「あらむね」の由来

「あらむね (ALUMNAE)」とは、女子同窓生という意味で、ラテン語が語源の英語“ALUMNA”の複数形です。シスター・フェクトが命名、元教頭 堀先生が題字を揮毫してくださいました。

『春の山』西島 玲

挨拶



会長就任にあたって

新会長 永井 綾子 (旧姓：大野) (24回生)

塩見前会長のあとを受けて、平成29年度より会長を引き継ぐことになりました24回生の永井綾子です。

同窓生はすでに1万人を超え、賢明ファミリーの輪もさらに大きくなりました。また、たくさんの方が国内・外を問わず、様々な分野で活躍されていることは、同窓生として誇らしい限りです。これからも同窓生の皆さんのお力をお貸しくださいますよ

う、お願いいたします。

64回生の皆さん、卒業おめでとうございます。輝かしい未来に向かって歩き始めた皆さんは、本当にまぶしいほど素敵です。これからは同窓生として皆さんに会えることを楽しみにしています。

さて、同窓会では来年度からホームページを一新し、さらに充実させていく予定です。会員同士の情報交換や情報発信の場として、皆さんに気軽に利用して頂ければと願っております。



ご挨拶

前会長 塩見 美智子 (旧姓：瀬渡) (21回生)

春ほど待たれる季節はなく春ほど待たされる季節もない。淡い春の兆しを感じ微かな期待を誰しも持つておられることで

しょう。この季節、新しいスタートへのワクワクする気持ちをさらに高めてくれます。64回生の皆様ご卒業おめでとうございます。賢明で過ごされた大切な時間はこれからの人生において大きな拠り所となり、迷いや不安で立ち止まりそうになった時、きっと背中を押してくれま

す。自分を信じて前に進んでください。2016年度より新しく就任されました松浦校長先生のもと、静かにそして着実に新しい賢明がスタートしています。さらなる心の教育にご尽力されておられます。同窓会の皆様にはどうかこれまで以上に暖かくご支援くださいます様によりしくお願い致します。又、賢明は創立65

周年を迎えこの春には新入生70回生たちが新しくファミリーになります。節目の年、歴史と伝統ある女子校として存在価値を高め、益々、輝き続けます様に、卒業生である私たちも女性としての役割を女性の眼差しで見極めて社会に積極的に貢献出来るよう努力しなければと思います。もちろんすでにご活躍されている多くの同窓生にエールを送りつつ。

この度、同窓会本部を卒業することになりました。賢明を見つめ思いを寄せて、幸せな時間を送らせて頂きました。これもいつも暖かく迎えて下さった先生方や、賢明愛あふれる同志のような、側で支えて下さった役員の皆様のおかげです。そして同窓会の皆様、大きな経験をさせて頂き心より感謝しております。本当にありがとうございました。



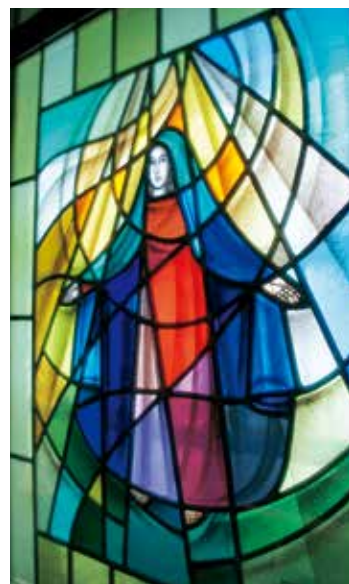
2017年、リヴィエ・ファミリーの心新たに

理事長 シスター 山本 千恵

「あらむね56号」の発行と時を同じくしての賢明64回卒業生141名の新会員誕生をお喜びいたします。今年「あらむね会員」は総勢10,570人になりました。この会報を通して遠くに近くに、いつでもいつまでも心を通わせ祈り合える絆を頂いている幸せに感謝一杯です。会員の皆様は2017年をどんなふうに生きておられるで

しょうか。様々の状況・事情に囲まれておられることでしょうが、賢明ファミリーの一つの心・一つの愛に生かされて、互いを思い合い支えあってまいりましょう。

賢明女子学院は昨秋11月21日に創立65年を迎え、同時に南フランスにおけるルーツ聖母奉獻修道会の創立220年を記念する恵みの時を頂きました。その喜びに感謝し応えるべく世界各地のシスター達とリヴィエ・ファミリーは、創立者マリー・リヴィエが幼少時から「ピエタの聖母」の足許で学び育まれた「共感の心」を心として新たに再燃させて生活する決意をいたしました。どうぞ会員の皆様もご一緒によりお願いいたします。





ますますのご活躍を！

校長 松浦 明生

4月から校長に就任いたしました。よろしくお願いいたします。同窓会の皆さまには、賢明女子学院のためにキャリア教育講座や学院祭の喫茶・バザーなどでご協力いただき、感謝しております。

私が賢明女子学院の校長に就任することになって改めて周囲を見渡してみると、卒業生ご本人、あるいは奥様が卒業生であるなど、賢明の関係者が身近に多くおられることに気がつきました。そしてそれら卒業生の多くが母校に強い思いを抱いておられることにも気づかされました。お嬢様だけでなく、姪御さん、あるいはお孫さんが賢明生であるという方々が多いのはその表れだと思います。創立以来65年間、賢明女子学院がおこなってきた教育の確かさをここに見た思いがあります。

賢明女子学院は女子校ですから、家庭に入り家族をしっかり守っておられる方々が多くいらっしゃる一方、リヴィエ会報「あらむね」の特集「Shining Stars」の記事を読むと、社会の各方面で活躍されている賢明の

卒業生が多くおられることも知りました。他にも、音大を出たのち、一念発起して弁護士の資格を取得し新聞にも紹介されるような活躍をされている方、ヴァイオリニストとして国際的な活躍をされている方など、「Shining Stars」で紹介したらよいのではと思う卒業生の存在も耳にしております。

卒業生が各方面で活躍されていることは、後輩である在校生にとっても誇らしいことです。卒業生の活躍を朝礼で紹介したことがありましたが、そのときは普段よりも興味を持って聞いてくれたように感じました。先輩の活躍は将来の自分の道でもあると思えるからでしょう。同窓会の皆さまの活躍は後輩である現役生に大きな可能性を示してくださっています。

私は卒業生が活躍し、また同窓会の活動が活発になることが、在校生に誇りと自信を与え、自己の能力を最大限に発揮して成長してくれることにつながると思っています。

リヴィエ会、ならびにリヴィエ会員の皆様の今後のますますの発展を祈っております。

64回生を送り出すにあたって

高3（64回生）学年主任 藤岡 佐和子

同窓会会員の皆様、いかがお過ごしでいらっしゃいますか。この度、賢明女子学院高等学校第64回生141名は、伝統となっている「光の式」でいただいた「ともし火」を掲げて船出し、新たに同窓会の仲間入りをさせていただくこととなりました。どうぞ宜しくお願い致します。

思い起こせば、6年コースの生徒達との出会いは、2011年4月、東日本大震災の直後でした。目に見えない大きな抑圧、心の中に立ちのこさる暗く重い闇のようなものを誰もが感じていたに違いありません。その闇のすぐ向こうには光があることを信じて、入学式で名前を読み上げながら、

ひとり一人の「あなた」と「賢明」が深い絆で結ばれたことを強く感じていました。3年後、新たに3年コースの生徒達を迎え、64回生は元気に、時には悩みながら学校生活を謳歌してきました。

高校3年間の目標を「平和を築く生き方を学ぶ」と掲げ、賢明の教えである「神に対する愛、他人に対する愛、自己に対する愛」を学んできました。この尊い学びを実生活に活かし目標に向かって力強く歩み続けてほしいと願っています。まだまだ未熟ではございますが引き続き皆様のご指導ご支援をお願いしてご挨拶とさせていただきます。

卒業生のことば

今から3年前、私は3年コース生として賢明女子学院高等学校に入学しました。澄みきった青空、そして満開の桜はまるで私たちを歓迎してくれているようでした。

最初は戸惑いもあった、HR、授業前、授業後のお祈り、校歌中の英語の歌詞、教会へ行ったりと賢明だからこそできる経験をしてきました。入学当初何もわからず困っている時、64回生のみんなは話しかけてくれたり賢明について

中川 柚季（64回生）

教えてくれたことが本当に嬉しかったことを覚えています。

そんな優しく繊細な心を持った64回生と私たちを優しく見守り暖かく接して下さった先生方と過ごした3年間は、私の心から一生あせることのない思い出です。

そして今、私たちは賢明生活のゴール地点に立ちました。賢明で学んだ“the Best”の精神を胸に秘め、そこから一歩踏み出し新たな未来へのスタート地点に立ち、夢に向かって次の舞台へ駆け抜けていきます。

在校生のための、卒業生による 「キャリア教育講座」

今年度のキャリア教育講座は下表の7名の卒業生の皆さん(内2名が今回初めての方)が講師を務めてくださいました。M3生(67回生)108名とH1の3年コース生(高校入学生)11名を主たる対象に、後輩たちにあつき思いを語っていただきました。先輩方の生の声に在校生は興味津々・・・仕事を知るよい機会になりました。

2016年度 キャリア教育講座の講師 〈7月25日実施〉

氏 名	回生	職 業	居住地	講義のタイトル
野村 直美	37	グラフィックデザイナー	姫路市	デザインの仕事に就くまでのいろいろと今
松岡 京子	37	ゲストハウス経営	姫路市	道は一つじゃない。やりたいことをやってみよう。
杉田 陽子	38	姫路文学館学芸員	明石市	知っているようで知らない学芸員の世界
中川 公恵	39	大学准教授(薬学)	神戸市	薬学部ってどんなところ? 薬剤師の仕事って?
宮田 有佳	41	元JICAケニア事務所職員	姫路市	国際協力の現場から ~ケニアのスラムで九つ転び十起き~
中尾直穂子	46	看護師・助産師	神戸市	女性の心強いサポーター! 助産師の仕事
鍛冶かおり	47	ANA関西空港旅客部社員	神戸市	エアライン業界について

ものの魅力を伝える仕事

38回生 杉田 陽子〔姫路文学館 学芸員〕

このたび、学芸員という仕事についてお話させていただきました。想像していたより多くの後輩たちが、この仕事に興味を持ってくれていることに、驚きと喜びを感じました。学芸員資格を持っている人は、意外とたくさんいます。しかし、実際に学芸員として働いている人となると少なくなります。そこが、この仕事が生きていてあまり知られていない理由なのかもしれません。

学芸員は、博物館法で定められた、博物館の専門職員のことです。それぞれの博物館の設立趣旨に応じて、ものを集め、保存し、それらを後世に伝えていくと共に、調査・研究し、それらのものの魅力を皆さんに伝えていくということを仕事としています。私が勤める姫路文学館では、姫路を中心とした播磨ゆかりの作家・学者に関する資料を中心に収集、調査、研究し、その成果として展覧会や講演会、イベントなどを実施しています。絵画とはものの性質が異なりますので、来館者に目を留めていただくには、どういう仕掛けを作るか、どう言葉で繋ぐかが、工夫のしどころとなっています。

よく「博物館や美術館に行っても見方がわからない」という声を耳にします。博物館や美術館へ行く最大のメリットは、「本物に出会う」ということです。情報として知る分には、書籍やインターネットなどでも十分ですが、本物には本物だけが持つ力があります。あまり気負わず興味を持った博物館



にはどんどん出かけてください。そして、少しずつ心に残る本物を増やしてください。マイコレクションが増えていくにつれ、きっと自分なりの博物館の楽しみ方が生まれ出てくると思います。

キャリア教育講座に参加して

46回生 中尾 直穂子〔看護師・助産師〕

講師としてお招きいただき今回で3度目になりますが、自身の出産で2年空いたこともあり、気持ちを新たに臨みました。おそらく助産師は出産の場面で分娩介助する姿のイメージが強いと思



いますが、実際に助産を学び、臨床に出てみると、多岐にわたる分野で女性を支援していることに気がきます。助産師を目指したきっかけ、自身が経験した病院や診療所での出産の現場の話に加えて、多方面で活躍する助産師の活動も交えて紹介し、この仕事の奥深さを少しでも伝えられたら、という思いでお話しました。また、私は出産を機に診療所を退職しましたが、地域での性教育などをお手伝いする機会もあり、資格のありがたさを実感していることもあって、その強みにも触れました。

今回M3の廊下から見えるグラウンドを見て、真っ黒に日焼けして部活に明け暮れた陸上部時代を思い出し、リヴィエ館に向かう廊下で、朝礼で紹介された金子みずぶさんの詩を思い出し・・・卒業してから度々思い出す賢明時代の思い出には、人生を豊かにしてくれるたくさんの教えや経験があったことに気付かされます。そして、中高の多感な時期に共に学んだ友人たちもまた財産で、「仕事」という点においても、それぞれの分野で仕事を続ける友人が多く、良い刺激となっています。在校生の、すれ違いざまの礼儀正しい挨拶や、熱心に講義に聞き入ってくれる姿に、先輩として襟を正さねば、という気持ちになり、有意義な時間となりました。中には、すでに「助産師になりたい」という目標を持つ生徒さんも。案外狭いこの業界、いつかどこかで一緒に働ける日が来ると嬉しいなあ!これからますます女性の活躍が期待される時代、後輩の皆さんには、賢明での学びを大切に、それぞれの分野でエネルギーに活躍されることを願っています。

同窓会だより

同窓会の報告原稿を募集しております。毎年12月末締切りとさせていただきます。お写真、記事をメールかお手紙にてご連絡ください。

メールアドレス rivier.kenmei@gmail.com

9回生 同窓会 2016年10月8日



「今のうちに」を合い言葉に、関東から来られた5名の方を含め33名が集いました。

参加出来ることに感謝しつつ、お互いの日常や活躍のお話に笑ったり刺激を受けたりしながら暖かい時間を過ごすことが出来ました。

北佳子（神吉）

10回生 同窓会 2016年5月18日

古希の年の同窓会で「今日が一番若い日。これから是一年一年を大事にして“母の日を目途にお会いできる機会を重ねていけたら」と、毎年同窓会を開催することに決定。そんなわけで昨年について、今年もホテル日航姫路に集いました。

各席には金箔の折り鶴が。これは“希望の鶴”と名付けられ、東日本大震災の被災者の方たちから広まった折り鶴とかで、脳トレを兼ねての折り紙講座と楽しいひと時を過ごすことが出来ました。

また皆様の善意の55,991円を熊本地震義援金として神戸新聞社を通じてお届けしたことをご報告いたします。

来年の会場は関東方面で計画をしていただいています。（幹事：高須（藤本）多紀子さん）皆さん元気で会いましょうね。

幹事 井田、小畑、島津

28回生 同窓会 2016年8月11日



今年初めての国民の祝日、山の日、8月11日にホテル日航姫路において28回生の同窓会を開催しました。

中学、高校と担任をして頂いた、伊賀崎健志先生、伊賀崎香木先生ご夫婦が参加下さいました。28回生は41名の参加でした。

6年ぶりの同窓会でしたが、会うと同時にすっかり同級生に戻り、会話が弾んで和気あいあいと楽しい時間があっという間に過ぎました。改めて賢明の卒業生であることに幸せを感じました。

次回は4年後の東京オリンピックの年ということに決まりましたので、今回出席出来なかった方も是非、予定しておいて下さいね。

植杉貴美子（青田）

61回生 同窓会 2016年1月11日



1月11日成人式の後、同窓会をホテル日航姫路で開催しました。寺田（加）先生、林先生、坪田先生、平川先生、吉岡先生にご出席いただき、笑いが絶えない61回生らしい楽しい時間となりました。

北垣優美

関東地区同窓会（5グループが開催）2016年6月12日



22回生が幹事となり、6月12日に「ナビオス横浜」にて関東地区同窓会を開催致しました。

東京修道院からSr. 鷺尾・Sr. 中川、横浜にお住まいの竹本先生、姫路から伊賀崎先生・本庄先生がご参加下さいました。

5回生、9回生から53回生と総勢57名で、懐かしい30年前の賢明の校舎・売店、そして現在の賢明の様子をスクリーンを通して振り返りました。又2年後賢明ファミリーでお会いすることを願ってお開きと致しました。

22回生 斎藤喜久子（吉田）

賢明あるある 卒業式で、スカートの下にジャージを折り曲げてはいていて怒られたこと。

2017年度 中学入試状況

中学入試

入試日程	募集人員	出願者数	受験者数	合格者数	入学予定者数
A日程	115	123	120	99	98
B日程	20	42	41	29	13
C日程	10	18	15	11	9
計	145	183	176	139	120

※中学入試の入学者は2月18日に確定

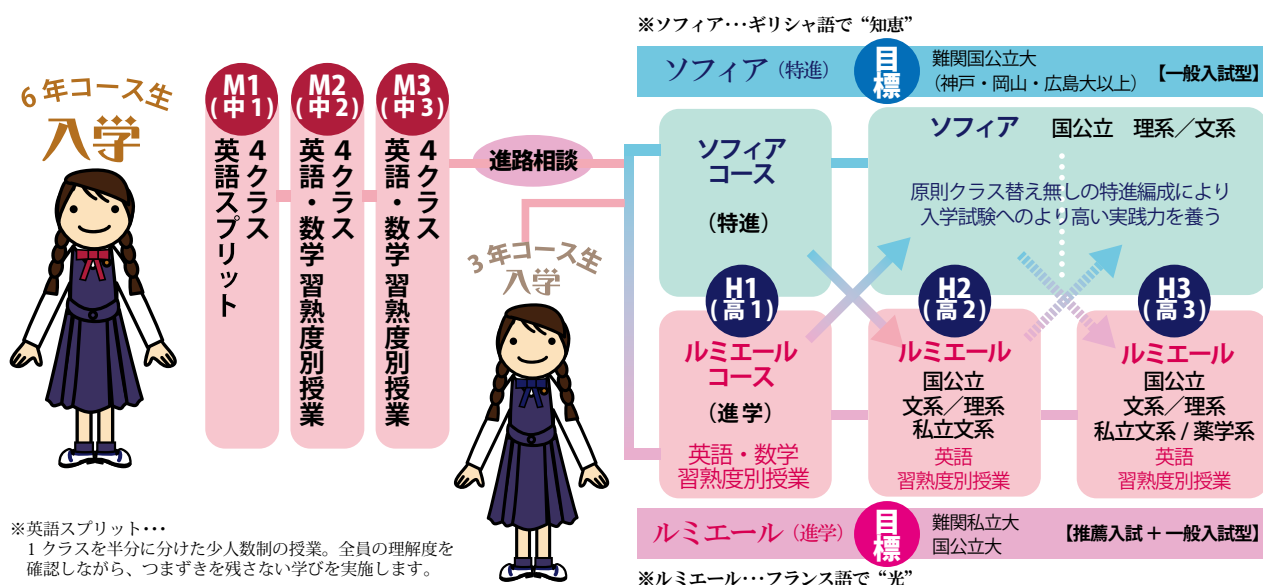
入試状況

入試統括 田崎 正和

2016年度の生徒募集活動も「少しでも多くの小中学生や保護者に学校訪問を呼びかけ、授業や在校生の姿や教育環境をまず見学してもらう」ことを目標に、ホームページを活用し時機を逸せず賢明のよさを発信することや、教職員や生徒が地域と積極的に関わるよう取り組んできました。入学者選考にあたっては受験生の基礎学力のレベルを重視しています。いつでも学校見学は可能ですので、卒業生の皆様も、近くの小学生・中学生にお声かけをお願いします。

賢明の教育カリキュラム

イラスト：44回生 東 夏子



海外研修 中学生を対象としたニュージーランド語学研修



自然豊かな環境で
楽しみながら生きた英語を学びます。

中学3年生の希望者を対象に、夏休みを利用して15日間の語学研修をおこないます。

研修参加が決定すると、出発までの約5か月間いろいろな形で、校内研修がおこなわれます。また、直前にはネイティブの先生による直前集中セミナーも実施されます。

現地ではホームステイで滞在し、マリスタカレッジの語学クラスを受講します。初めての海外経験となる生徒も多く、英語がなかなか口から出ないもどかしさや、自分の英語が通じる喜びなどを経験。帰国後の学習意欲も一段と高まります。



Shining Stars

～卒業生の一人一人が輝いています～

高3で単身フランスへ ヨーロッパを中心に活躍するチェンバリスト



ストラスブール市のサン・トレリー教会で

今(2016年9月)ストラスブール(フランス)は冬の風が吹き始めています。フランスに来てもう18年になります。賢明の中等部にいたころ、ショパンコンクールの審査員でもあったビヒト・アクセンフェルト先生に大阪でお会いして、可能性があると云われたことが私の道を決めたように思われます。しかし、どうして良いかわからぬまま、漠然と何かを待つように待っていました。高3の三学期になって、マルマン先生(アンジェコンセルバトワールのチェンバロ科教授)から突然ファックスが届いて、「いますぐにフランスに来るように。」全てはここから始まりました。そういえば、何年も前にフランスに行きたいと言ってあったのです。それから1ヶ月後、フランス語も話せないのに、私はフランスのアンジェコンセルバトワールにいました。アンジェからリヨンコンセルバトワール、オランダのアムステルダムコンセルバトワールそして再びフランスのストラスブール大学院へと、チェンバロ科/オルガン科を渡り歩き、一等賞の金メダルを獲得し続けることができたことは私の自信の基盤となりました。

昨年、フランスでは私のアンサンブル「ダム・ドゥ・フェラー」を結成し、バロック音楽の演奏会を始めました。そして、日本では東京と姫路で音楽会を開催することができました。

来年は東京の二子玉川の「松本記念音楽迎賓館」(2017/



在ストラスブール日本総領事ご夫妻と

7/20)と新宿の「近江楽堂」(2017/7/21)、神戸では神戸風月堂(2017/7/17)、たつの市では「龍野クラシックアネックスガーデンチャペル」(2017/7/18)でコンサートの予定が決まっています。

そして2017年7月22日には「第7回日仏ピアノコンクール in JAPAN」を神戸芸術センターで行います。ストラスブールコンセルバトワールの学長の協力で、このコンクールで優秀な成績を取めた出場者はストラスブールコンセルバトワールのオーディトリウムで演奏することができます。これから音楽を目指す方にその道の一つを示すことができれば、私のように途方にくれることもないだろうにと思っています。

ストラスブールでは、「バッハコレギウム・ストラスブール・オルツノー Bach Collegium Strasbourg Ortenau」というバロックオーケストラのチェンバロ奏者の席をいただいており、2016年11月には日本にも度々来ているバロック音楽界では有名なシグスヴァルト・クイケンとチェンバロ協奏曲の共演をしました。

いまま、演奏会の合間には、コンセルバトワールのパイプオルガン演奏者のフランシス・ヤコブやマルタン・ジェスターたちに教を乞い、音楽の研究に没頭できる環境を何よりも嬉しく思っています。長い間自分が欲しかったものはこれだったのだと気付きました。



49回生

水谷 友紀さん

/チェンバロ奏者

* profile

チェンバリスト
DUMISTE (フランス音楽教育国家資格取得者)
日仏ピアノコンクール委員長(NPO法人Conserver理事長)
ひめじ観光大使
アンジェ・コンセルバトワール【フランス】チェンバロ科を審査員全員一致の金メダルで首席卒業、オルガン科を審査員全員一致の金メダルで卒業。
リヨン・コンセルバトワール【フランス】に首席で入学。金メダル、ブリデクセランを獲得。チェンバロ・ディプロマを取得し首席で卒業。
アムステルダム・コンセルバトワール【オランダ】チェンバロ科にフランス国籍にて留学しチェンバロの学士取得。
ストラスブール大学大学院【フランス】にてMaster Proを取得、「ジョン・ブルを通して見るエリザベス朝音楽の演奏方法」に関する修士論文は高く評価され、ストラスブール大学芸術学科にて「フランス音楽教師国家資格」を取得。現在はストラスブール・コレギウムのチェンバロ奏者。また、バロック音楽のアンサンブル「Dames de Ferrare」を結成しヨーロッパ各地でコンサート活動を行っている。

《愛音デュオ ハセキカク》 フォークギターから三線に持ち替えて

とにかく子供の頃から歌うことが好きでした。中一の冬、お年玉でギターを買って中二からMギター部へ。賢明時代は勉強もせず歌ってばかりだったような気がします。あれからウン十年。今の主人とユニット組んで3年。3周年の記念ライブはイーグレアートホールで初めてのレコ発ライブとなりました。この3年心の中にあったのは、今出来る精一杯「the Best」の精神でした。これからもこの気持ち忘れず歌って行こうと思っています。



29回生

長谷 純玲さん

(旧姓: 中筋) / 三線

* profile

Mギター部、コーラス部
M1でフォークソングに出会い、ギターを始める。
校内での活動、H1の学院祭でテーマソングの制作とステージで歌う。
ギターを弾かなくなって、ウン十年。
6年前にエイサー、三線に出会い、4年前から主人とユニット「愛音デュオ ハセキカク」で姫路を中心に多方面で活躍中。

第38回姫路市芸術文化賞受賞おめでとうございます!!

芸術文化年度賞

最近1年間に優れた作品を発表し、芸術文化の向上発展に貢献した者若しくは団体、又は最近1年間に顕著な文化活動を通して、地域文化の向上発展に貢献した者若しくは団体に贈られる。

芸術文化奨励賞

優れた芸術文化活動を行い、将来一層の活躍が期待される者若しくは団体に贈られる。

芸術文化年度賞 山田 英子さん



▶受賞が決まった時のお気持ちをお聞かせ下さい。
突然のことだったのですが、2月の20日過ぎに受賞が決まったと連絡がありました。つづれに書いたエッセイを審査員の方々が読んで下さって、推薦して頂けたということをととても嬉しく思いました。

▶エッセイを書くようになったきっかけは何だったのでしょうか。
文章を書きたいという気持ちは以前から持っていました。そろそろ書いてみようかと思った時に、生涯大学にエッセイの講座を見つけ2年間通いました。その後文学館で文章表現講座が始まり参加しました。その講座では、字数制限などのノルマがあり、背中を押されるように本格的に書き始めました。架空のことを想像して書く小説よりは、事実を書くエッセイが自分に合っていました。

▶本の中でも高校時代のことに触れられていますが、賢明で特に思い出に残っていることはありますか。
宗教行事、特にクリスマスが印象に残っています。市民会館（当時は公会堂）で生誕劇や音楽の演奏をして

お祝いをしました。その後、窓ガラスや天井にデコレーションされた教室に戻り、朝までオールナイトだったんです。簡単な夜食も用意されていました。夫の仕事の関係でヨーロッパに行った際、特に絵画を見る時など、賢明で習った宗教の時間が蘇ります。聖書を知っているから理解できることがとても多いです。

▶今迄行かれた中で特に印象に残っているところはどこですか。
バラと廃墟の町と言われているスウェーデンのゴットランドです。ノーベル財団のシンポジウムに招かれたのですが、路地や家々の庭に植えられたバラが廃墟にとけ込んでとても印象的でした。学会のディナーパーティは洞窟レストランでした。サバイバルナイフで硬い大きなパンを皆で切って食べました。中世に戻ったような雰囲気でした。

▶エッセイを読ませていただいて、美術や文学への造詣の深さに深く感銘を受けました。好きな作家、好きな画家を上げるとするとどなたでしょう。
作家では向田邦子さん、田辺聖子さんです。お二人のようなユーモアのあるエッセイが書けたらと、いつも思っています。画家はモネが好きです。ランスの教会の壁画を見てからは、藤田嗣治さんも好きになりました。絵を見ていると、その人の人生が知りたくなり、エッセイに取り上げた画家もあります。

▶今後エッセイに書いてみたいことはありますか。
いつか病を得て死を思うとき、その心情を綴ってみたいという気持ちはあります。悲壮感のない、明るく上向きの気持ちで書ければいいと思います。



7回生
山田 英子さん
(旧姓：黒田) / 文芸

* profile

姫路生まれ。大学在学中より文学に親しむ。また、夫の仕事で海外に滞在することが多く、ヨーロッパで美術や音楽への造詣を深めた。平成12年に『文芸日女道』同人となつてからは、姫路から外国まで様々な場所での日常、音楽、美術、文芸に至るまでを、深い思索とユーモアをもってエッセイに紡いで発表している。平成21年に初めてのエッセイ集『刻を紡ぐ』を、平成27年には第二エッセイ集『刻のアラベスク』を出版した。(いずれも、編集工房ノア)

芸術文化奨励賞 西島 玲さん

▶受賞された時のお気持ちをお聞かせ下さい。
まさかとびっくりしました。私でいいのかなと思いましたが、ずっと見てくれた人がいたんだなと思いました。

▶織物を始めたのはいつからですか。
高校時代から油絵をやりたいと思っていました。短大の美術科へ通っていた時に、京都という土地柄もあり織物を学ぶ機会がありました。少しずつ織物に興味を湧いて面白くなり、織物で作品を発表するようになりました。油絵と織物は表現方法が違っただけで、基本的には同じだと思っているので、違和感はありませんでした。

▶どのように作品を作るのですか。
つづれ織りという技法で作っています。まず図案を考えて下絵を描き、それに合わせて毛糸を染め、経糸を織機にかけてから経糸に下絵を写し、それに沿って緯糸を入れて織っていきます。色々な色の糸で絵を描く感じです。

▶作品を作る楽しみ、やりがいはいくつありますか。
自然をテーマに作品を作っています。日々の生活の中で見たり、聞いたり、感じたりすることが作品のヒントになっているように思います。それをどういう風に形にしていけるかがとても難しいですが、少しずつ形になっていく時にやりがいを感じます。

▶今後の抱負をお聞かせ下さい。
今まで通りコツコツ続けていければと思っています。又、少し思い切った作品にも挑戦してみたいです。今年（平成29年）の夏に個展を開く予定があるので、現在はそれを目指して制作中です。

▶賢明生に一言お願いします。

皆さんは今パソコン・スマホなどと向き合う時間が多いと思いますが、1日の内少しの時間でもいいので、“何も持たない”“何もしない”で自然と向き合う時間を作ってみて下さい。そういう時間と、何か大切な物を育ててくれたような気がしています。どんな事でも一生懸命心を込めて出来る人は素晴らしい。もし失敗して結果が出なくても、きっと自分の力になっています。賢明生でいる6年間で色々な力の源を身につけて下さい。



今回の表紙にご協力いただきました。



24回生
西島 玲さん
(旧姓：飯田) / 工芸

* profile

京都の短大卒業後、昭和54年兵庫県工芸美術展で県知事賞受賞。兵庫県工芸美術作家協会、播磨工芸会、姫路美術協会に所属し毎年展覧会に出品する他、母である染織家の飯田あき氏との二人展でも広く染織の魅力を伝えている。兵庫県工芸美術展協会賞、同神戸新聞社大賞、姫路市芸術文化奨励賞など受賞歴多数。また姫路市書写の里・美術工芸館にてワークショップを開催し、技術の啓発と後進の育成にも努めている。

特集 クラブ活動

現在のクラブ活動

運動部

- ・少林寺拳法部
- ・バドミントン部
- ・剣道部
- ・硬式テニス部
- ・ソフトテニス部
- ・陸上競技部
- ・ソフトボール部
- ・卓球部
- ・バレーボール部
- ・バスケットボール部

文化部

- ・ブラスバンド部
- ・コーラス部
- ・書道部
- ・放送部
- ・ハンドベル部
- ・カトリック研究会
- ・家庭科部
- ・演劇部
- ・ダンス部
- ・文芸部
- ・自然科学部
- ・アート部
- ・E.S.S.部
- ・パソコン部

おけいこ

- ・茶道
- ・華道
- ・箏曲

部活動2016年度実績 教頭 林 美雪

文化部14、運動部10、お稽古3の活動をしています。部員数の多いクラブはブラスバンド部67名、ダンス部53名、一方少ないクラブは3名～5名と何とか頑張っている状況です。

今年度は文芸部カルタ班で高校全国大会出場や少林寺拳法部中学全国出場を果たしています。又、毎年行われている近畿カトリック女子球技大会で卓球部が48年ぶりに準優勝に入る快挙を成し遂げました。どの文化クラブ、運動部も毎日こつこつ練習に励み、仲間との共有時間を大切に過ごしています。賢明のモットーである「ザ、ベスト!」を意識しています。時には、姫路市からの依頼があり、イベントにも参加し地域の人に賢明を知っていただく機会もあります。どこかで見かけたら、是非声をかけて下さい。



卓球部

Pick Up



ハンドベル部

ハンドベル部顧問 社会科教諭
古田えり子（旧姓：三木）44回生

ハンドベル部は10年前に「文化部」になりました。賢明のハンドベルは40年前からありますが、私が生徒だった頃は「同好会」で、部活動とは別でした。私もコーラス部に所属していましたし、ハンドベルは基本的に学年ごとの活動であったと記憶しています。しかし、15年前に母校に赴任した頃は全学年合わせても15名前後になっていました。そこで「同好会ではなく、何か目標を持った部活動にしたい。せっかく珍しい楽器を演奏できるのだから」と考えるようになりました。生徒たちの努力もあってメンバーも増えた10年前に部活動申請を行い、現在の形になったのです。今では部員40名の大所帯で、ベルの数も増え、保護者のチームも活動しています。ハンドベルは「競わず、協力する」ことを大切にしているため、コンクールがありません。しかし、学内だけの活動では目標設定ができませんので、福祉施設や病院、商業施設などで演奏し、地域で積極的に活動するようにしています。これからも地域の皆さんに喜んでいただき、生徒たちがたくさん経験ができる部にしていきたいです。



文芸部 カルタ班

山田 翔 61回生

文芸部カルタ班は、私が高校1年生の時に本格的な活動を開始しました。私も共に入部した同期もソフトテニス部に入部しており、2つの部活動の両立、また先輩がいない中で如何に部活動の内容を充実させるかを常に考えていたように思います。

同期が積極的に県内の強化練習会に誘ってくれたり、また後輩も積極的にかかるたに取り組んでくれたおかげで高校3年生の時に全国大会に出場することが出来たと思います。

先輩、後輩関係なく皆で協力して部活動を作り上げていったことは今でも私の大切な思い出です。





タティングレースとの出会い

5回生 斎藤美杜里 (旧姓:谷口) (日本タティング協会会員)

中学3年の時、手芸部でシスター・ウーベッド・マリーに教わったのが、出会いの始まりです。最初は手が動かず悩みましたが、一度、指が覚えると一目ずつ見なくとも編めるようになりました。しかし、高校に入ってからやめてしまい、それから長い休みの期間。

それが、今から20年前にある本と出会うことになったのです。その本のほとんどの作品はたつの出身の藤戸先生だったので、すぐ連絡を取り、再びシャトルを持つようになり、今に至っております。



28回生

寺田加寿美

(旧姓:高野)

体育科教諭
陸上部顧問
生徒指導部長

「愛ある賢明での部活動」

私は賢明での6年間、陸上部で過ごし、人生において大変貴重な経験をした。初めての全国大会出場は中学3年生時であるが、この時は両親から貰った遺伝子だけで出場したと言っても過言ではない。が、高校1年生の進路懇談会で担任の先生から筑波大学を薦められ、その瞬間に夢と目標を確信し、それに向かって勉強も練習も一生懸命に努力を積み重ねた。その甲斐あって高1の秋から100mと走幅跳の記録が着実に伸び、高2からは全国高校総体や国体で活躍できる選手となった。全国級の試合には生徒会や新聞部の皆さん、校長先生が応援に来てくださり、また沢山の先生方には姫路駅での送迎など、多くの方々に応援して頂いた。高3の夏の全国IHでは、優勝候補であったし、もちろん私自身が誰よりも「高校チャンピオン」になりたいと願い、あらゆることを犠牲にし、我慢をし、自分に厳しく頑張り続け試合当日を迎えた。が、走幅跳の最終試技まで1位であったのに、ラスト試技で静岡の選手にたった1cm差で負けてし

まった。表彰式も記者インタビューも全く記憶になく、ただ兵庫のテントに戻った時に「優勝でなければ2位も最下位も同じだ」と言われたことだけが頭に残っている。涙も出ず「そうなんだ」と思った。宿舎に戻り茫然としていると、両親と一緒に顧問の先生が来て下さり「よく頑張った。感動した。気をつけて帰っておいで」と言われ、涙が堰を切ったように流れた。顧問の先生と私の両親が、兵庫の先生方と同じことを私に言っていたらきっと私は陸上をやめていた。でも普段の私の頑張りを認めてくれる愛情一杯の先生と両親であったからこそ、その後、全日本選手権や国体、大学選手権など優勝し、海外遠征まで連れて行ってもらえる選手に成長させてもらったと思う。そして今、愛情ある母校で教員として迎えていただいて30年が過ぎた。すべては賢明で出会った先生方、友達、両親の愛情ある言葉のおかげである。心から感謝。全てに感謝している。

クラブ活動の思い出

～本年度の理事の方々へのアンケートから～

- * 体も心も鍛えられたこと。
(54回生: 少林寺拳法部)
- * とにかく厳しかった。でも今でも元気でいられるのは、この時期に体力をつけたからだと思います。
(29回生: 硬式テニス部)
- * 卒業してからも仲良く遊べる仲間がいて、おばあちゃんになってもつるんでいたと思って幸せです。
(53回生: バスケットボール部)
- * 卒業しても変わらず仲間と集まり、いつまでも当時の頃に戻り楽しく過ごせる。試合や合宿で寝食を共にして絆が深まったりして、とてもいい思い出です。
(48回生: ソフトボール部)

- * のんびり楽しくやっておりました。
(3回生: バレーボール部)
- * 先生が厳しかったです。途中で退部しています。
(30回生: バレーボール部)
- * ブラスバンド、とても楽しかったです。が、担当楽器がチューバで、太ももにあざができてしまい、楽器変更が叶わず辞めてしまいました。私にはチューバは重すぎました。
(51回生: ブラスバンド部)
- * 今でも発声練習をします。
(9回生: 放送部)
- * 当時アカペラが流行っており、リヴィ工館で勝手にライブをして田崎先生に怒られたこと。南高校の助っ人として一緒に演奏ができたこと。
(50回生: コーラス部)

- * 簡単な家事スキル向上。私たちが仕切っている時、クリスマス行事に少し参加してみたり、新しい試みをいくつか行ったことです。実習トラブルはつきものでしたが、良き思い出です。
(63回生: 家庭科部)
- * 学院祭でブルーのドウランを顔一面に塗ったこと。それを見て親が泣いたこと。
(44回生: 演劇部)
- * 「キツネとオオカミ」物語を英語Onlyで上演し、良い思い出になりました。
(1回生: コーラス部)
- * 朝練、昼練、放課後練、下校後の野外練と1日の大半を演劇に使ったことが思い出です。
(59回生: 演劇部)

バザー報告 Bazaar

学院祭

2016年
9月17日(土)

9月17日(土)、学院祭において同窓会バザーが盛大に開催されました。

バザーでは開店前に長い行列ができ、今年度は日用雑貨に人気が集まりました。

また今回初めてフランクフルトとわた菓子の販売しましたが、こちらも大変好評でした。6回目を迎える復興支援の取り組みとして、生徒会が熊本物産展を行いました。

品物をご提供下さった皆様、バザーにお越し下さった皆様、開催にご協力下さった皆様、誠にありがとうございました。来年度も是非ご協力よろしくお願い致します。



生徒作品



ご冥福をお祈り申し上げます

わたしは彼らに永遠の命を与える。
彼らは決して滅びず、
だれも彼らをわたしの手から奪うことは
できない。
ヨハネによる福音書十章二十八節



旧職員 岸野 敏郎	2016年2月11日	10回生 芦田 裕子	(西村)
5回生 永谷 いつ子	(永谷) 2016年5月	13回生 大和 令子	(清原) 2015年12月
5回生 長沢 玲子	(犬塚)	13回生 渡辺 典子	(野村) 2016年5月7日
5回生 丹羽 紀代	(岡林) 2016年10月20日	16回生 武本 恵子	(繁畑) 2015年12月4日
5回生 長戸 馥	(見満) 2017年1月31日	16回生 内田 美江子	(林) 2014年4月4日
7回生 下原 良子	(滝口) 2016年7月30日	18回生 内海 久美子	(飯尾) 2016年2月8日
7回生 本間 裕子	(武田) 2016年11月13日	19回生 松川 いりす	2006年10月23日
9回生 清田 和子	(津崎) 2015年12月	20回生 大橋 律子	(藤原) 2016年10月8日
10回生 山本 はる子	(梅村) 2016年10月17日	21回生 川中 理絵	(河村) 2016年1月6日

同窓会会則



賢明女子学院高等学校同窓会

会 則

第1条 (名称)

本会は賢明女子学院高等学校同窓会「リヴィエ会」と称する。

第2条 (目的)

本会は会員相互の親睦を図り、母校の発展を助長することを目的とする。

第3条 (会員)

本会は次の会員を以て構成する。

1. 正会員：賢明女子学院高等学校を卒業した者。又は在学した者で役員会に於いて推薦を受けた者。
2. 特別会員：母校現職員並びに旧職員。

第4条 (所在)

本会は本部を姫路市本町68 賢明女子学院内に置く。但し、必要に応じて地方に設けることができる。

第5条 (役員・役員会)

1. 構成：会長1名、副会長3名以内、書記2名、会計2名、常任理事(10期毎に1名)、顧問(賢明女子学院校長・前同窓会会長)2名で構成する。

第6条 (任期・任務)

1. 任期の年度は4月から始まり翌年3月で終了する。
2. 役員の任期は2年とし、再任は妨げない。
但し、理事会の承認を得ること。
3. 任務：
 - 3.1. 会 長：本会を代表し、会務を総理する。総会、理事会、役員会の招集を行う。
 - 3.2. 副会長：会長を補佐し、会長に支障ある時は之に代わる。
 - 3.3. 書 記：役員会、理事会、総会及び臨時の会合記録をとり、ファイルする。会員の閲覧要請に対応する。
 - 3.4. 会 計：同窓会費の全ての経理事務を担当する。
 - 3.5. 常任理事：本部役員の補佐をする。
 - 3.6. 会計監査：会計年度末及び役員会の要請に応じて会計帳簿の監査を行う。会計監査終了後、報告書と監査済報告書を役員会に提出し、理事会において承認を得る。
 - 3.7. 顧 問：重要事項につき諮問に応じる。

第7条 (理事・理事会)

1. 理事は各期より2名、新人会の期は、8名を選出し、各期の代表として議決権を有する。
2. 理事会は会員の代議機関として各期の意見を反映し、決議に関しては出席理事の過半数の賛成を要する。
3. 理事会の成立は過半数の出席(委任状を含む)を必要とする。

第8条 (特別委員会の設置)

役員会で必要であると認めた場合に適切な委員会を設置する。

第9条 (会計年度と財務)

1. 会計年度は4月1日から翌年3月末日までとする。
2. 財務に関しては入会金、終身会費(在学中に積立)と寄付金を以て之に充てる。

第10条 (同窓会の活動)

1. 同窓会の活動は原則として営利を目的としない。
2. 年1回は会員相互の交流及び親睦を目的の集い(バザー等)を行う。
3. 年1回、同窓会報「あらむね」を発行する。

第11条 (会則の修正及び改正)

1. 会則の修正及び改正の必要が生じた場合、特別委員会として会則改正委員会を設置し、この任に当たる。
2. 理事会出席者の過半数の賛成を持って、修正及び改正は成立する。

附 則

本会の資産保護の為、金融機関一行当たりの預金額は、預金保護法に基づいた金額を超えない範囲とする。

本会則は

1963年 名簿発行時に施行
1991年 一部修正
1999年 一部修正
2004年 一部修正
2011年5月15日 改正・発効

賢明女子学院 同窓会室 利用手引

利用時の 注意事項

- 利用目的として、同窓生の親睦を主とするため、利用対象は卒業生・在校生のみとなります。
- 利用日および時間帯は学院に準ずるものとなり、原則、月曜日～土曜日、9時～16時。
休校日の利用については、相談に応じます。
- 基本的に使用料は無料。
有料の講習会等の場合は、1回(4時間まで)500円。1日中利用の場合、1,000円。

利用申請者

利用日までに

- ① 別紙申請書に記入後、FAX・郵送、または学院へ直接持参。

電話:079-223-8459 / FAX:079-223-8478

受信確認は申請者の任意でお願いします。

- ③ 使用不可の場合、学院より連絡あり。

学 院 側

事務室受付へ

受取後

- ② 学院にて使用可否確認。
※使用可能な場合、連絡はありません。

利用当日の注意事項

- 学院内のお車の駐車はご遠慮いただき、近隣有料駐車場をご利用ください。
- 同窓会室内の備品はいずれも使用可能です。ただし、備品を破損された場合は、弁償していただくこともありますので、ご了承ください。
- 利用後は、備品などを元の位置に戻し、清掃の上、ごみの持ち帰りをお願いします。

同窓会室をご利用ください。

本 部 だ よ り

2016年度 活動報告

第69回中学入学式

- 2016年4月8日(金)
会長、副会長が出席

2016年度理事会

- 2016年5月22日(日)
10時～12時
- 顔合わせ、行事予定の確認
- バザーの役割分担
- あらむね委員の選出

バザー

- 2016年9月17日(土)
9時～15時
- 全理事でバザーの開催と喫茶を運営
(前日準備13時～16時
バザー品の値付け作業、
喫茶会場準備)
- バザーの収益金の中から下記の寄付
- 学院へ10万円
- あしなが東日本大地震
津波遺児募金へ10万円

追悼行事

- 2016年11月2日(水)
11時45分～
- 会長、副会長ならびに逝去
された回生の理事が出席

第65回創立記念ミサ

- 2016年11月16日(水)
11時40分～
- 賢明女子学院 創立65周年記念、
聖母奉献修道会220周年記念ミサに会長、
副会長が参列

クリスマス行事

- 2016年12月22日(木)
クリスマスタブローを会長、
副会長、本部役員で観賞

あらむね封入

- 2017年2月24日(金)
25日(土)
- 10時～16時の間で都合の良い
時間に各理事で封入作業

卒業式予行演習

- 2017年2月28日(火)
- 会長から卒業生へ祝辞と同窓会入会を説明

卒業式

- 2017年3月1日(水)
- 会長、副会長が出席
- 同窓会からの記念品(コサージュと卒業証書ファイル)を63回生理事に各教室へ運ぶお手伝いをして頂く

各種会議

- 同窓会事務室にて
本部役員会議を月1回以上
(約20回)
- あらむね編集会議(月1回程度)

2017年度 活動予定

2017年

理事会

5月21日(日)

バザー準備日

9月15日(金)

学院祭バザー

9月16日(土)

10時～(喫茶9時30分～)

追悼行事

11月2日(木)

クリスマスタブロー

12月22日(金)

2018年

あらむね封入

2月23日(金)

2月24日(土)

卒業式

3月1日(木)

2015年度会計報告 (2015年4月1日～2016年3月31日)

収入の部

(単位:円)

項目	備考	金額
63回生会費	@20,000×134名	2,680,000
寄付(旧職員の会)		5,000
寄付(旧職員岸本妙子)		10,000
寄付(12回生)		29,197
雑収入	コピー代	261
バザー売り上げ		729,820
利息		5,869
合計		3,460,147

支出の部

(単位:円)

項目	備考	金額
あらむね発行一式		1,482,540
卒業式	コサージュ	56,940
	証書ファイル	78,524
バザー経費		233,659
慶弔費		16,996
寄付(学院)		100,000
寄付(あしなが育英会)		100,000
理事会経費		8,377
学院祭経費		59,426
関東地区同窓会関係		9,071
事務費		18,712
次年度繰越金		1,295,902
合計		3,460,147

2016年3月31日現在 総資産額 34,083,784

あらむね編集委員募集!

「あらむね」の編集委員を募集しております。各企画など皆さんのアイデアを記事にしてみませんか?詳しくはリヴィエ会まで。

あらむね原稿募集!

同窓会やりました!同窓会開催します!卒業生の活躍、こんな仕事しています。賢明あるある、クラブ活動の思い出などなど「あらむね」に掲載いただける原稿を募集しております。どしどしお寄せください。

メールアドレス rivier.kenmei@gmail.com

編集後記

編集にあたり、色々な方に出会って改めて賢明ファミリーを感じました。年代を超えて意見交換ができ、楽しく活動できました。

ご協力いただいた先生方、同窓生、事務局の皆様へ感謝申し上げます。
(あらむね編集委員一同)

あらむね編集委員		
委員長	24回生	池内 恵美
オブザーバー	21回生	塩見美智子
	33回生	入山ゆかり・濱田 明子
委員	24回生	正田美也子・高西 潤子
	29回生	長谷 純玲・野村 史江
	44回生	東 夏子・西澤 順香
	57回生	三橋 響子
	58回生	坂本 奏・松田 美加
	61回生	北垣 優美・大崎穂乃香

各理事へ連絡をとりたい場合は

今年度より個人情報の保護の為、各理事の連絡先は掲載しておりません。各理事への連絡を取りたい場合は、会長、副会長まで、もしくは同窓会Gmailにてお問い合わせください。

同窓会ホームページへの掲載を希望される方は

ホームページ掲載のご依頼は、以下の手順でお願いします。

- ① 賢明女子学院同窓会ホームページにアクセスする。
- ② ホームページ掲載依頼についてのガイドラインをご一読いただき、ご理解の上、掲載依頼書をダウンロードする。
- ③ 必要事項をご記入の上、Gmailで同窓会宛にお送りください。
(FAXでも学院宛に送信可能です。)



第49代 お城の女王に選ばれて



61回生 満田 芽生さん

皆様、こんにちは61回生の満田芽生と申します。
この度は、このような機会をいただき誠に光栄に思っております。

私は昨年5月に行われましたお城まつりより、姫路市の観光親善大使として姫路お城の女王に就任させていただきました。姫路をPRするために、姫路市内だけでなく、北は北海道から南は福岡まで数々の県外に回らせていただいております。私は、賢明での6年があったからこそ今の自分があるのだと思っております。賢明時代に出会った先生方、友人、そして経験したことすべてが今の私を作ってくれました。お城の女王となり、正直大変なことは多々ありますが、常に賢明時代に6年間培ってきた賢明のモットーである

「the Best」の精神で頑張っております。まだまだ未熟ではありますが、精一杯頑張りたいと思っております。



学院祭バザーのご案内

2017
年度

今年も9月に学院祭が開催されます。
同窓会では例年通りバザーと喫茶を
各回生の理事全員で行います。

当日は、同窓会室にくつろぎスペース
を設けております。お子様連れの方も
ご利用ください。

日 時 2017年9月16日（土）

バザー 時間 10時00分～

場所 同窓会室（食堂東隣）※品物がなくなり次第終了

喫茶 時間 9時30分～13時30分

場 所 賢明女子学院

バザーの出品物（日用品・手芸品など）にご協力下さい。出品物には、必ず希望の売値をつけておいて下さい。
また、管理の都合上**9月1日（金）**以降に本学院までご郵送・ご持参ください。（平日の17時まで受付）

キャリア教育講座の講師募集

在校生のための、卒業生による「キャリア教育講座」の講師を募集しています。

【人材バンク登録・推薦内容】

1. 氏名（○回生）
2. 連絡先（住所）
3. 電話番号（あればFAX）
4. 職種、趣味

〒670-0012 兵庫県姫路市本町68 賢明女子学院中学校・高等学校事務局

TEL: 079-223-8456 FAX: 079-223-8458

連絡先 進路指導主任（柳内）まで

寄付金の募集について

賢明女子学院に対する3,000円以上の寄付について、税制上の優遇措置（寄付金控除）を受けていただくことができるようになりました。寄付金控除に関しては「税額控除」もしくは「所得控除」のいずれかの制度を選択していただくことができます。詳細につきましては、学院事務局までお問い合わせください。

2017年度 理事会のご案内

日 時 2017年5月21日（日）10時より

場 所 同窓会室

※理事が出席できない場合は必ず代理の方をお願いします。

賢明女子学院 同窓会

検索

<http://www.himejikenmei.ac.jp>

住所異動はご連絡下さい。 TEL.079-223-8456 FAX.079-223-8458
E-mail rivier.kenmei@gmail.com